



新緑がまぶしい季節になってきました。

五月晴れと五月雨は、文字に五月とあることから今の5月の気候のように思われています。しかし、もともとは旧暦の5月、つまり6月、梅雨の最中の晴れ間や雨について表現したものでした。そうとわかるとイメージが変わりませんか？



表紙が緑色の本



『牧野富太郎 日本植物学の父』

清水洋美/著 汐文社

日本全国の野山を歩いて集めた標本は40万点。名前をつけた植物が1500種類。今年で生誕160年を迎える、植物学者牧野富太郎の研究にける情熱と生き方。



『葉桜と魔笛』

太宰治/著 立東舎

太宰治の不朽の名作が、色彩豊かな和装イラストで人気のマンガ家紗久楽さわによって、鮮やかに現代リミックス。文学との出会いの一冊に。



『そして、バトンは渡された』

瀬尾まいこ/著 文春文庫

血の繋がらない親の間をリレーされながらも出逢う家族皆に愛情をいっぱい注がれてきた彼女自身が伴侶を持つときー。家族について根本から考えさせられる一冊。



沖縄本土復帰記念日



5月15日

2022年5月15日沖縄は本土復帰から50年を迎えます。

沖縄は日本で唯一、第二次世界大戦で地上戦が行われ、多くの人々が犠牲になったところです。その後27年間アメリカの統治下にありましたが、1972年この日、ようやく日本に返還されました。

『戦争体験を「語り」「継ぐ』

広島・長崎・沖縄次世代型の平和教育』

大石 学/監修 学研

戦争を体験していない世代がどう語り継いでいくのか、実際に取り組まれている人の体験談から、等身大の思いを感じることができます。



『いのちの重さ伝えたい』

沖縄戦 | フィート運動と中村文子のあゆみ』

真鍋和子/著 講談社

戦争を起こすのは、人間です。戦争を起こさない努力が出来るのも、人間です。アメリカに保管されている沖縄戦の記録フィルムを買いもどそう！平和への願いをこめた、1フィート分100円の募金が、未来をひらく遺産を生みだす。



『沖縄を知る事典』

「沖縄を知る事典」編集委員会/編 日外アソシエーツ
自然、風土から歴史、基地問題まで、沖縄人の視点で解説した読む事典。

